

平成29年11月7日


高松市教育委員会
保健体育課長 殿

学校名 高松市立牟礼北小学校
校長名 米澤 広志

公印
省略

平成29年度 高松市防災教育講師派遣事業報告書

次のとおり、標記事業を実施したので、報告します。

学 校 の 名 称	高松市立牟礼北小学校
派 遣 内 容	急な大雨・雷・竜巻から身を守る
日 時	平成 29 年 10 月 25 日 (水) 9 : 30 ~ 11 : 30
場 所	高松市立牟礼北小学校 視聴覚室
対 象 者 数 参 加 人 数	児童数 55名 クラス数 2クラス (特別支援学級 1クラス) 教職員数 3名
内 容 ・ 日 程 等	前半：講話 後半：ミニワークショップ・ビデオ視聴
取 組 に お け る 成 果	<p>全体を通して、理科の「台風と天気の変化」や「流れる水のはたらき」と関連していたので、児童は意欲的に学習することができた。</p> <p>前半は、講義形式で気象情報や防災行動についての基礎的な知識を学ぶことができた。注意報や警報の種類、防災気象情報を知ったときの避難行動について、ワークシートに書き込みながらまとめることができた。</p> <p>特に、土石流が流れ出す様子の映像を見た時は、一刻も早い避難が求められることを実感できていた。</p> <p>後半は、ミニワークショップ形式で進められた。ビデオ「急な大雨・雷・竜巻から身を守ろう被害編」を見て、被害に遭わないために自分ならどう行動するかをワークシートに書き込んだ。その後、4人の班で話し合いを行い、全体交流をした。</p>  <p>映像をじっと見る児童</p>

児童の話し合いでは「黒い雲（積乱雲）が近付いてきたらすぐに家に帰る」「竜巻が起これそうなときは建物の中に避難する」「近くの子どもSOSの家に避難する」「大雨のとき川の近くには行かない」などの意見が出た。

その後ビデオ「急な大雨・雷・竜巻から身を守ろう 解説編」を見て、自分たちの話し合いで出た意見が正しかったことを確認した。

ビデオでは、多くの実験が行われており、雷が落ちる様子や、竜巻の威力、浸水時歩行できない様子など普段目にするのでできない事例が入っていて、災害の恐ろしさを改めて感じることができた。

最後に授業を受けての感想を聞くと、「自分だけは大丈夫と思わず、素早い行動を心がけたい」や「普段から家族で防災について話し合いをし、避難場所についてきちんと決めておきたい」という意見が出た。どの児童も防災への関心が高まったと言える。



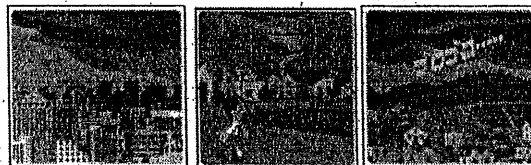
班で話し合う児童



解説編を食い入るように見る児童

今 後 の 課 題

この学習を単発で終わらせるのではなく、継続的に指導していきたい。また、家庭とも連携しながら、登下校時の避難についても繰り返し指導していきたい。



「急な大雨・雷・竜巻から身を守ろう！」を聞きながら、画面に



がでてきたら書いてみよう

1回目 どんな注意報があるか、足りないものを書いてみよう！

ふうせつ おおゆき はろう たかしお かみなり ゆうせつ
✓(大雨)、✓(洪水)、(強風)、風雪、大雪、✓波浪、✓高潮、✓雷、融雪、
のうむ かんそう ていおん しも ちやくひょう ちやくせつ
濃霧、乾燥、なだれ、低温、霜、着氷、着雪

2回目 どんな警報があるか、足りないものを書いてみよう！

ぼうふうせつ おおゆき
✓(大雨(土砂災害浸水害))、✓(洪水)、(ほう風)、暴風雪、大雪、
はろう たかしお
✓波浪、✓高潮

3回目 「まとめ」を完成させよう！

- 1 自分の住んでいるところは、どんな(災害)が発生する可能性があるか、確認する。
- 2 気象台などが発表する(防災)気象情報を理解し、正しく判断し、適切に(行動)する。
- 3 日頃から、家族で(相談)しておく。
- 4 災害は、最悪な状態を考えて、できるだけ(早く)行動する。